

# 構造材・使用材料調査

# 「50棟以下」で土台の集成材化進展

本紙が実施した平成20年度の「木造住宅ランキング調査」で、構造材の使用材料、樹種などについて回答した50社を集計したところ、別表のような結果となった。柱については大手住宅会社を中心に集成材比率が増加、50棟以下のクラスでは逆に半減する一方、土台では前年度の調査では50棟以下のクラスでは集成材の採用はなかったが、今回は大手並みの比率となった。樹種別ではカラ松集成材が横架材や土台などの分野で増加していることも分かった。

## 国産カラ松集成材が伸びる

この調査は、本紙が平成10年度から実施（14年度までは上期べリス、以降は通期べリス）で集計しているもので、今回で11回目。主要構造材での集成材比率（採用比率）は、

柱	採用比率% ( )は前年度比	50棟以下の住宅 会社の採用比率
集成材	58.1(+3.1)	16.5(-14.5)
(Wウッド)	23.9(-4.7)	5.8(-4.2)
杉	21.0(+8.0)	39.7(+26.7)
桧	18.3(-10.5)	35.5(-17.2)
その他	2.6	8.3
横架材		
集成材	61.9(+6.6)	26.6(-6.3)
(Rウッド)	30.6(+3.6)	8.4(-7.9)
(カラ松)	11.7(-)	16.8(-)
(Wウッド)	8.7(-2.5)	-(-)
米松	26.2(-9.5)	51.4(+5.0)
杉	10.4(+3.2)	20.6(+5.6)
その他	1.5	1.4
土台		
集成材	27.1(+8.4)	27.7(-)
(米ヒバ)	10.3(+3.0)	7.1(-)
(カラ松)	9.5(-)	12.1(-)
桧	35.7(+5.3)	62.1(+3.3)
米ヒバ	17.6(-2.6)	0.7(-10.9)
米ツガ	9.1(+1.1)	7.1(-)
SPF	6.0(-)	-
その他	4.5	3.0
仕口		
プレカット	98.0(+2.2)	95.0(+0.4)
(金物工法)	35.0(+14.6)	19.6(+7.8)
(クレテック系)	12.2(-)	10.8(-)
(HSS系)	10.7(-)	7.7(-)
手加工	2.0(-2.2)	5.0(-0.4)

本紙調べ。金物工法はプレカットの内数

ピークからやや減少しており、近年は大手の集成材志向と50棟以下の地域ビルダークラスでは国産材、ムク材志向が読み取れる結果となっていた。今回、柱では50棟以下のクラスで集成材の比率が半減し、杉が大幅に増加、桧も減少した。大手でも杉の比率

が8割増加するなど、国産材製品の品質向上や住宅不況でも価格志向が現れたとも読み取れる。横架材では大手は集成材比率が増加、Rウッドの増加傾向は変わらないが、国産材志向からカラ松集成材が増加している。50棟以下のクラスでは杉を横架材に使う比率が増加するとともに米松も増加。やはり価格を重視してきている可能性もある。その一方、土台では50棟以下のクラスで集成材化が一気に進み、米ヒバが急減している。仕口加工については、大手、50棟以下でも金物工法の比率が増加、最大手のクレテック

クにグラウンドワークスのHSS金物などが迫ってきている結果にな

った。(詳細は木材建材ウイクリー11月9日号に掲載予定)。

**階段プレカット 驚異!! 翌日出荷 特急便**

詳しくは弊社までお問い合わせ下さい。

**TSC株式会社 ティ・エス・シー**

〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53  
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349